

10. 次は、NHK大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」に関連しての質問です。

「お江」人気を観光に活かそうと、「お江」にゆかりのある各地で様々なイベントが行われています。

区議団に届いたメールを紹介します。

「江戸東京博物館に行きました。お土産を売るコーナーで滋賀県のお江グッズはたくさん売っていましたが、港区のお江グッズは何もおいてありませんでした。もったいないと思いました。せっかくの機会に何でおいていないのでしょうか？ これからでも遅くはないのでは？ 絵葉書、クリアファイル、携帯ストラップ、根付け、お守り、お菓子等おいてありました。もっと港区を全国にアピールしてください。なんといってもお江が眠っているのは港区なんですから」、本当に指摘の通りです。

増上寺では、「お江」の墓がある「徳川将軍家墓所（霊廟）」を4月15日から11月末まで、有料で一般開放するとのこと。多くの観光客が来れば、経済効果が上がります。参拝料の助成を行うべきです。

増上寺はもとより、我善坊での「お江」の茶毘に関連する寺院や火葬を差配した寺院の共同墓地、秀忠がお江のために建てた景勝院（芝公園2丁目）をはじめ、区内には「お江」、徳川家にゆかりの深い場所が数多くあります。

例えば「お江・徳川家を訪ねてマップ」を作成して観光に生かすなどの取り組みを行うこと。

本庁3階の観光資料を一階のロビーに移し、お江のキャラクターの入った桃太郎旗を並べるなど、来訪者などにアピールすること。

また、全国多くの自治体は観光課を置き、地域経済の発展のために、いかに観光客を呼び込むのか必死になっています。観光の港区をPRするためには、現在のように観光担当一人ではやりたいことがあっても限界があります。予算もしっかりとつけるとともに、観光部署の職員体制を抜本的に強化すべきです。今年は特別です、臨時職員も雇うなどして、対応すること。さらに、港区観光協会事務局が複数体制をとれるよう人的支援、財政的支援を行うこと。

それぞれ答弁を求めます。

【区長答弁】

次に、NHK大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」に関連した取組についてのお尋ねです。

まず、「徳川将軍家霊廟」の参拝料の助成についてです。

区は、参拝に係わる助成はできませんが、区や港区観光協会が実施する「まち歩きイベント」の際に「徳川将軍家霊廟」を無料で公開する特別公開日を設けるなど、より多くの観光客に区

を訪れていただけるよう、増上寺と協議を進めてまいります。

次に、「お江・徳川家を訪ねてマップ」の作成についてのお尋ねです。

区では、現在、お江ゆかりの地や歴史観光イメージキャラクター「江姫」を活用したオリジナル商品等を扱う店舗等の情報を掲載した「お江マップ」を作成し、広く情報発信をしております。

また、平成 23 年度には、「お江」や「篤姫」などの紹介を通じて、区内の歴史観光資源を紹介する「港区歴史ガイドブック」を作成いたします。

今後も引き続き、港区の歴史観光資源を効果的に PR し、観光客の積極的な誘致に活用してまいります。

次に、本庁舎 1 階ロビー・での観光 PR についてのお尋ねです。

本庁舎 1 階ロビーにおいて、「お江」関連事業などの観光情報を発信することは効果的であると考えております。

来庁される多くの区民等の安全面などに十分配慮したうえで検討してまいります。

次に、観光部署の職員体制強化についてのお尋ねです。

現在、区は、産業振興課において、商工観光担当係長を配置し、商店街振興及び中小企業振興等と緊密な情報共有や調整を図りながら、一体的・効果的に施策を展開しております。

来年度につきましても、現行の執行体制のもと、港区観光協会や港区商店街連合会等と連携を図りながら、観光振興施策を積極的に推進してまいります。

次に、港区観光協会事務局への人的、経済的支援についてのお尋ねです。

区は、港区観光協会の自立的な運営の確立に向けて・従来の筆蒼局体制支援に加え・本年度から 3 か年の予定で公募による事務局長の配置を支援しております。

また、平成 23 年度には、港区観光協会と連携して、増上寺境内及び東京タワー内に臨時観光インフォメーションコーナーを開設し、観光協会が運営スタッフを配置することを支援いたします。

今後とも、港区観光協会の会員拡充等による財政基盤の強化など、自立的な運営を確立することができるよう事務局体制整備を支援してまいります。